

2000年(平成12年)10月31日(火曜日)

毎日新聞

「出席できず残念」

李前総統がメッセージ

日台フォーラム

日本と台湾の有識者が日台関係やアジアの安全保障問題について話し合う「アジア・オープン・フォーラム」の第12回会議が30日午



李登輝
前総統

前から、長野県松本市のホテルで2日間の日程が始まった。

会議には李登輝・前台湾総統がビデオでメッセージを寄せ、会議に参加するため希望していた訪日を実現できなかったことについて「諸情勢のため、自ら出席できなかったことは残念の至りである」と率直に心情を吐露した。

前総統はまた「人類の間に生じた紛争は武力に訴えても根本的な解決は不可能」と指摘、間接的な表現ながら台湾問題解決に武力行使を辞さないとする中国の姿勢を批判した。

フォーラムは、東京外語大の中嶋嶺雄学長らが世話人となり1989年に設立、双方の政財界人らに参加して日本と台湾で毎年、相互に開催してきた。フォーラムは今回で解散する。

最終回のテーマは「新世紀への知的戦略」で、日本からは亀井正夫・住友電気工業相談役、台湾側から陳必照・国防部副部长(国防次官)の計約150人が参加した。

李前総統は「一私人」として出席を希望していたが、中国政府が、前総統は「普通の人でなく(日中関係に)もたらす結果は自明だ」(朱鎔基首相)などと強く警告、日本政府も査証(ビザ)発給に難色を示し、実現しなかった。

【共同】